

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1357 号	氏名	Cuong Chi Ngo
学位審査委員	主査	森内 浩幸	
	副査	本田 純久	
	副査	児玉 年央	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、ベトナムの基幹病院において髄膜脳炎の原因病原体、関連するリスク因子、ウイルス性・細菌性・結核性の鑑別に有用なバイオマーカーを同定しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>2 年間にわたる研究で、対象となる患者の疫学・臨床データを集積し、原因病原体の検出には通常の微生物学的検査に加えて種々の分子アッセイも導入し、さらに有力なバイオマーカーとしてアデノシン・デアミナーゼ(ADA)の意義を検討し、これらの結果を統計学的に解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で 583 名の患者を解析した結果、1) 分子アッセイを導入することで病原診断が向上した。2) 髄液中の ADA 高値が細菌性又は結核性髄膜脳炎と強く相関することを明らかにすることができ、今後のベトナムにおける髄膜脳炎の臨床研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は髄膜脳炎の臨床研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			